

防火について

不燃認定品

法定不燃石膏ボードへの施工(直張り)で「不燃仕上げ」になります。防火規制の厳しい用途に適しています。

不燃認定品の防火性能

防火種別	防火性能(施工法:直張り)			
	不燃材料下地	不燃石膏ボード	準不燃材料下地	金属板下地
1-1	不燃	不燃	準不燃	準不燃
1-4	不燃	不燃	準不燃	不燃
1-6	不燃	不燃	準不燃	—

防火認定制度と見本帳表示について

防火材料について

防火材料とは、不燃・準不燃・難燃の性能区分に応じて、国土交通大臣が定めた、または認定した材料です。建築基準法により内装制限を受ける箇所には所要の防火性能を持つ材料を使用しなければなりません。壁紙は、下地との組み合わせで防火性能が決まります。つまり、施工する下地の性能によっては同じ壁紙でも防火性能が異なる場合があります。下記告示に表記のない下地に施工した場合は、防火壁装材料として認められません。

- 不燃材料(建設省告示第1400号ならびに国土交通省告示第1178号による改正)

コンクリート、れんが、瓦、陶磁器質タイル、繊維強化セメント板、ガラス繊維混入セメント板(厚さ3mm以上)、繊維混入ケイ酸カルシウム板(厚さ5mm以上)、鉄鋼、アルミニウム、金属板、ガラス、モルタル、しっくい、石、石膏ボード(厚さ12mm以上)、ロックウール板、グラスウール板

- 準不燃材料(建設省告示第1401号平成12年6月1日)

不燃材料、石膏ボード(厚さ9mm以上)、木毛セメント板(厚さ15mm以上)、硬質木片セメント板(厚さ9mm以上、かさ比重0.9以上)、木片セメント板(厚さ30mm以上、かさ比重0.5以上)、パルセメント板(厚さ6mm以上)

※ご不明な点につきましては建築主事にご確認ください。

防火認定番号について

認定番号は、不燃の防火性能を有するものは「NM」、準不燃は「QM」、難燃は「RM」の記号がそれぞれ頭に付いた4桁の番号となります。

認定番号		
不燃	NM-○○○○	*NM — 「Noncombustible Material」燃えにくい材料
準不燃	QM-○○○○	*QM — 「Quasi noncombustible Material」類似の(準)燃えにくい材料
難燃	RM-○○○○	*RM — 「Fire Retardant Material」火を遅らせる材料

防火壁装材料認定共同管理の運用について

一般社団法人日本壁装協会は、防火壁装材料の認定共同管理を開始しております。協会として新たに防火材料認定を取得することで、防火壁装材の認定仕様に関する品質の向上、コンプライアンスの維持を目的としています。

⚠ 価格表に掲載している防火認定番号および防火種別が、見本帳有効期限内に変更される場合があります。日本壁装協会の「壁紙品質情報検索システム」で最新の情報をご確認ください。

日本壁装協会の壁紙品質情報検索システムがお役に立ちます。

<https://www.wacoa.jp/Hekisou/>

日本壁装協会 検索

防火認定制度について

防火壁装材料の種別一覧表

防火種別	防火性能						
	施工方法/直張り				施工方法/下張り		
	不燃材料	不燃石膏ボード	準不燃材料	金属板	不燃材料	不燃石膏ボード	準不燃材料
1-1	不燃	不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
1-2	不燃	準不燃	準不燃	難燃	準不燃	難燃	難燃
1-3	不燃	準不燃	準不燃	—	—	—	—
1-4	不燃	不燃	準不燃	不燃	—	—	—
1-5	不燃	不燃	準不燃	難燃	—	—	—
1-6	不燃	不燃	準不燃	—	—	—	—
1-7	不燃	準不燃	準不燃	不燃	—	—	—
1-8	不燃	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
2-1	準不燃	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
2-2	準不燃	準不燃	準不燃	難燃	難燃	難燃	難燃
2-3	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—	—
2-4	準不燃	準不燃	準不燃	難燃	—	—	—
2-5	準不燃	準不燃	準不燃	—	難燃	難燃	難燃
2-6	準不燃	準不燃	—	—	—	—	—
2-7	準不燃	準不燃	—	不燃	—	—	—
3-1	不燃	難燃	難燃	—	—	—	—
3-2	不燃	不燃	難燃	—	—	—	—
3-3	不燃	準不燃	難燃	—	—	—	—
4-1	準不燃	難燃	難燃	—	—	—	—
4-2	準不燃	準不燃	難燃	—	—	—	—
5-1	難燃	難燃	難燃	—	—	—	—
6-1	不燃	不燃	—	—	—	—	—
6-2	—	—	—	不燃	—	—	—
6-3	不燃	不燃	—	不燃	—	—	—
6-4	不燃	—	—	不燃	—	—	—
6-5	不燃	—	—	—	—	—	—

- ◇防火認定について
防火認定商品は、施工現場において基材となる下地材ごとに日本壁装協会制定による「防火壁装材料の施工共通仕様」によって仕上げた場合、国土交通大臣より防火材料として認定されます。
- ◇防火種別について
防火種別は日本壁装協会が自主管理上の分類のために設定した番号です。この種別は、認定番号等の公的な表示ではありませんのでご注意ください。また種別は随時追加・変更がなされています。必ず最新の情報をご確認ください。
- ◇施工管理について
施工管理は、「申請者が直接施工を行う責任施工」または「申請者が責任をもって施工者を指導する」のいずれかで行います。

壁紙との組み合わせで防火認定取得可能な施工下地の代表例

- ・不燃材料 …………… 告示第1400号の「厚さ5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板」「モルタル」
- ・不燃石膏ボード …………… 告示第1400号の「厚さ12mm以上の石膏ボード」
- ・準不燃材料 …………… 告示第1401号の「厚さ9mm以上の石膏ボード」
- ・金属板 …………… 告示第1400号の「金属板」（アルミニウムを除く）

防火ラベルについて

壁紙品質情報管理システムの軸は、「防火製品表示ラベル」と「防火施工管理ラベル」

壁紙品質情報管理システムでは、防火壁装材料の製造出荷から現場施工仕上げまでの管理を一貫して行うため、2つの表示ラベルを運用します。製品には「防火製品表示ラベル」が、また、施工現場の仕上げ箇所には「防火施工管理ラベル」がそれぞれ表示されます。なお、日本壁装協会の「防火壁装材料品質情報管理システム」に参加、登録していない場合、両ラベルの表示ができませんのでご注意ください。

1. 防火製品表示ラベル

国土交通省より防火認定を取得し、防火仕様に適用できる壁紙には、製品の外面に「防火製品表示ラベル」が貼り付けられます。また、ラベルには防火性能や認定番号、その他の認定に関する情報が記載されています。

材料の区分、種類および商品名称

材料区分	紙系壁紙	繊維系壁紙	塩化ビニル	プラスチック系壁紙	無機質系壁紙	その他
種類	加工紙 紙布 和紙	織物 植毛 化学繊維織物 化学繊維植毛 化学繊維不織布 網織物		プラスチック オレフィン	水産アルミウム系 骨材 ガラス繊維	合成紙 どんす張り 塗装仕上げ

2. 防火施工管理ラベル

認定条件に基づいて壁紙と下地基材を組み合わせ、かつ日本壁装協会が制定した「防火壁装材料の施工共通仕様」により施工を行った場合、施工箇所には防火性能を表す「防火施工管理ラベル」を表示することができます。

防火施工管理ラベルの種類

防火認定取得済みの壁紙と防火認定取得済みの下地基材を組み合わせ、認定番号を印す。

不燃材料

（赤）

防火認定取得済みの壁紙と防火認定取得済みの下地基材を組み合わせ、認定番号を印す。

準不燃材料

（緑）

防火認定取得済みの壁紙と防火認定取得済みの下地基材を組み合わせ、認定番号を印す。

難燃材料

（青）

価格表

品質対策関係

施工上の注意/機能商品説明

暮らしのブランド・システム

防火について

品質と安全性

暮らしのブランド・システム